

E スクエア・プロジェクト

平成13年度 学校企画 実施計画書

応募するプロジェクト名： 学校企画

2. 企画テーマ名称：

へき地複式校における地域ネットワークを活用した表現力の育成
インターネットを使って学校と家庭の学習を結ぶ

3. 企画のねらい：

本校は豪雪地域のへき地複式校である。児童は少人数の固定した人間関係の中で育ってきたため、臨機応変に物事に対応する力や自信をもって豊かに自分を表現する力が弱かった。そのため、テレビ会議システムを使って他の学校の児童との交流授業を行い、自分の考えを発表したり、質問しあったりする授業を行ってきた。平成12年度はテレビ会議だけでなく、インターネットを活用して児童が調べたことや活動の様子をWebページに掲載したり、調べていく過程で生じた疑問をメールで伝えたりすることで、継続して他の学校と交流学习を行った。一部の教科で実践を行った結果、児童にとって必然のある授業を実施することができ、次のような児童の姿を生み出すことができた。

交流相手校の児童にもわかりやすい説明の仕方や表現の仕方を工夫して伝えようとする。

交流相手校の児童からの質問を予測して課題解決にあたり、テレビ会議で相手に説明する。

テレビ会議での相手の質問にその場で答えたり、質問内容を自分の課題として、家庭や地域の協力を得て坂内村の調査を主体的に行ったりする。

このことから本校の研究主題「豊かに自分を表現できる児童の育成」に迫るためには、テレビ会議を行うまでの学習過程が大切であることがわかってきた。同時に、インターネット等を介して、家庭や地域の教育力を積極的に学校と結びつけ、児童の学習に役立てることが必要であることもわかってきた。そこで、平成13年度は、インターネットを使って学校と家庭の学習を結び、児童や保護者は学校だけでなく各家庭からインターネットを活用して継続して学習を進め、児童の表現力の育成にあたりたいと考えている。

本校では、表現力の育成について、次のような段階を設定して、取り組んできた。

自分の考えを明確にして表現する段階
多様な考えを聞き、自分の表現に生かす段階
考えを交流し合いより高い価値を創造する段階

平成12年度までの研究により、ほとんどの児童が と の段階まで到達してお

り、13年度の実践により、「考えを交流し合いより高い価値を創造する段階」に近づきたいと考えている。

なお、研究の成果はWebページに掲載すると共に、これまでに収集した地域のデータとともに他の学校から積極的に利用していただくことを希望している。

<http://gw.vill.tanigumi.gifu.jp/sakauti/index.html>

4. 企画の概要：

(1) 対象

小学校 高学年 総合的な学習の時間

(2) 実施内容

児童は総合的な学習の時間で坂内村について調べ、各家庭の周辺の調査を行う。課題は児童が選択するため児童により異なる。調べる内容は、酸性雨、水生昆虫による水質調査、家の周りの生き物、水の中の生き物、植物の生育などの環境に関わること、または、地域の祭りや踊りなどの伝統行事である。継続して観察したり、調べていける内容を想定している。インターネット等を使って家庭の意見集約し、教師や保護者の意見も参考にしながら、児童が課題を決定する。

学校の総合的な学習の時間には課題設定、調査の方法の決定、調査のまとめ、Webページへの登録などを行う。家庭では、児童や保護者は学校のWebを見て、調査方法を調べたり、調査内容や調査の進展を知ったり、児童と一緒に調査データを登録したりする。総合的な学習の時間は毎日設けられているわけではない。そのため、児童が家庭で継続して調べていることについて、学校では家庭から登録された結果や送られたメール等を基づいて調査方法を示したり結果の確認を行ったりする。

調査がまとまると児童は学校でその調査結果をテレビ会議を活用して、交流相手校に伝える。テレビ会議で質問されたり、話し合いの中から生まれた疑問から、新しい課題を設定して、さらに深く追求する。テレビ会議の結果はWebページに登録して、家庭からその様子を知ることができる。テレビ会議は1学期と2学期にそれぞれ3～5回程度予定している。テレビ会議の相手校は本校と継続して交流を続けている学校であり、本校の研究に賛同している。

このような研究を通して、学校と家庭の学習を結びつけた学習が及ぼす効果について検証する。評価データは、学校での教師による観察法、インターネットを使った保護者への選択式のアンケートと記述式のアンケート、交流相手校の教師による評価、児童へのアンケートとポートフォリオを活用して、総合的に行う。調査結果はWebを通して保護者へフィードバックし、次の課題解決に役立てていただく。

5 . 実施体制 :

(1) 実施体制

校内体制

國枝正一	坂内小学校・校長	プロジェクトリーダー
横山隆光	坂内小学校・教頭	総括・企画
小森利治	坂内小学校・教諭	授業実践
松田正直	坂内小学校・教諭	授業実践
加藤雅恵	坂内小学校・教諭	授業実践
山川 満	坂内小学校・教諭	機器操作・Web ページ管理
岩間美保	坂内小学校・養護教諭	安全教育の観点からの支援

研究協力機関

岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センター

(2) 実施スケジュール

月	内 容
3 月	学校：総合的な学習の時間での実施内容を教育委員会・保護者・児童に説明
4 月	学校：総合的な学習の時間の実施 Web ページの充実 保護者へのパソコン研修 児童：総合的な学習の時間での基礎的な情報機器操作の習得 ホームページビルダーの使い方・Word の使い方・VTR カメラの使い方・動画の編集・メール送受信 保護者：パソコンの基礎的な操作 Web ページの閲覧・メールの送受信
5 月	学校：Web ページを介した保護者・児童への啓発 学習経過や学習成果のWeb ページへの登録 児童：総合的な学習の時間で追求する課題の設定 情報機器を活用した調査 デジカメ・VTR カメラ・パソコン 保護者と児童：各家庭からの情報の収集とデータの登録

5 月 3 1 日現在、上記の内容を実施した。6 月以降の実施内容は以下のものである。

6 月	学校：交流相手校とのテレビ会議を活用した交流授業 Web ページを介した学習成果発表会の開催
7 月	保護者と児童：各家庭からのWeb ページ閲覧 メールを介した保護者・児童への連絡、意見交換
8 月	学校：1 学期の実践のまとめ 2 学期の実践に向けての計画の立案 保護者と児童：各家庭からの情報の収集とデータの登録 メールを介した学校への質問

9月	学校：Webページを介した保護者・児童への啓発 メールを介した保護者・児童への連絡 学習経過や学習成果のWebページへの登録
10月	児童：1学期の学習をさらに深める課題の設定 情報機器を活用した調査 保護者と児童：各家庭からの情報の収集とデータの登録
11月	メールを介した学校への質問
12月	学校：交流相手校とのテレビ会議を活用した交流授業 Webページを介した学習成果発表会の開催 保護者と児童：各家庭からのWebページ閲覧 メールを介した意見交換
1月	学校：地域や保護者からの意見の集約 1年間の研究の成果のまとめ *総合的な学習の時間は1～2学期に多く確保している。

(3) 実施環境

坂内村では村内の全戸と公共機関に光ファイバーによるLAN回線が接続され、医療、福祉等への利用に向けての基盤整備が進められている。全ての家庭はパソコンを設置して、インターネットに接続することができる。学校では光ファイバーによる校内LANが整備され、各教室や特別教室からインターネットに接続したり、LANを介したテレビ会議を行ったりできる。また、INSを介したテレビ会議(6B)を実施している。コンピュータ室のパソコンからは衛星インターネットを利用することができる。本プロジェクトでは岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センターと共同研究を進めており、データサーバを使用する許可を得ている。